

Uターン栽培用誘引具

誘引作業の省力化・合理的な栽培方法

ラクタ〜ン

優れた
耐腐食性

誘引作業の省力化。植物の育成理論に基づいた合理的な栽培方法。大幅な
労力削減ができるだけでなく、高温障害・ポト病などを防ぎ、安定した収穫が出来ます。

プロが認めた
省力栽培・安定収穫



近代農業開発

ナスニックス株式会社

〒326-0334 栃木県足利市下渋垂町 688 FAX : 0284-73-6279



0284-70-0505

ナスニックス

検索

🍅 Uターン栽培が可能にした 🍅

誘引作業の省力化・合理的な栽培方法

Uターン栽培を行う事により、従来の長段取りを行う為の斜め誘引や、すり下ろし誘引から解放され、労力が大幅に軽減されます。又垂直誘引する為、立木の交差が無く、十分な光量を得る事が出来ます。且つ屈地性※により、根張りが良く、養分吸収が促進され、後期になっても草勢が衰えません。そして、段数も増え、大幅な増収へとつながります。

※生長芽は上へ上へと伸び、根は逆に地中深く深くと生育する性質

安定した収穫

斜め誘引では立木にストレスがかかり、空洞果や果房の生育の遅れ等の問題を引き起こしますが、Uターン栽培ではストレスがない為、玉伸びが良く、大玉の果実が収穫後期を通して、安定した収穫が可能となります。

無理する事なくUターン、病害虫の抑制

ラクターンを使用すると、自然な形でUターンが形成され、茎を痛めたり折る事で発症するボト病の心配は有りません。又、株間約35cmでもハウス内の採光・通風が良くなるので、病害虫の発生が抑制されます。

坪当たりの株数が増加

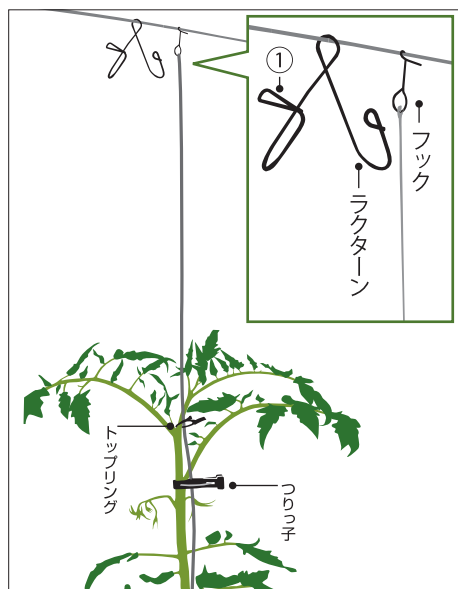
Uターン栽培をすることにより、株間を約35cmにすることが出来ます。そして、坪当たりの株数が多く入り、増収へとつながります。

優れた耐久性

優れた耐腐食性の亜鉛めっき鋼線を使用しているため耐久性に優れ、何年も繰り返し使用できるので経済的です。

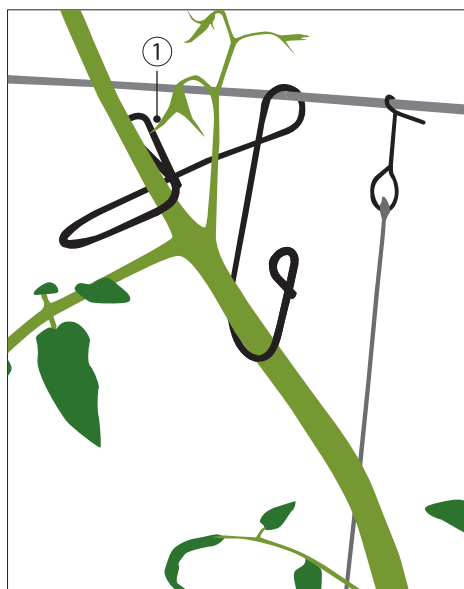
使用方法

1



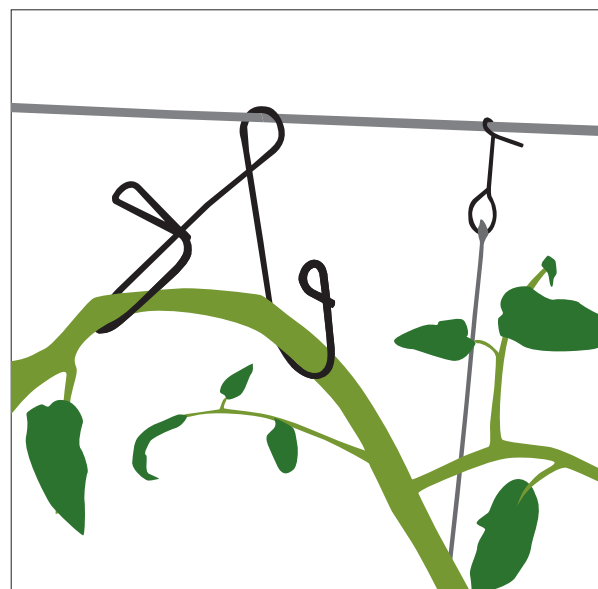
ラクターンを掛け、フックに紐を付け、ラクターンの近くに掛けます。苗の草丈が高くなったら「トップリング」や「つりっ子」でつりっ子紐（誘引線）と茎を固定します。

2



成長芽が番線より10cm程達したら、図の様に、茎が①の下を通るように「ラクターン」にセットします。

3



その後、果房の重みで「ラクターン」が図の様に茎を支え、理想的なトマトのUターン栽培が出来ます。